

## 再 評 価 書

箇所名	一般県道二本木御衣田線		事業名	道路事業	課 名	道路建設課 (津建設事務所)
事業概要	工 期 (下段前回)	H23年度～R11年度	全体事業費 (下段当初)	967百万円 (負担率: 国0.5: 県0.5)		
		H23年度～R11年度		967百万円 (負担率: 国0.5: 県0.5)		
事業目的及び内容						
<p>■当該路線の概要</p> <p>一般県道二本木御衣田線は、白山町二本木から同町川口に至る道路です。また新設区間は、一般県道藤大三停車場線のバイパスにあたります。</p> <p>当該路線は、国道165号と久居美杉線を結び、津・久居中心部と松阪中心部を移動するために重要な役割を担っている道路です。</p> <p>並行路線の一般県道藤大三停車場線は、幅員が狭く線形が悪いため、車両の対向が困難な箇所や、歩道が未整備であるため、歩行者の通行に危険な箇所があります。また、グリーンロードが途切れた形となっており、広域的な幹線道路ネットワークの機能が十分に果たされていない状態です。</p> <p>このようなことから、上記の課題の改善を図るために、平成23年度に一般県道二本木御衣田線の事業に着手しました。</p> <p>■事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅員狭小、線形不良区間の解消</li> <li>・歩行者の安全確保</li> <li>・道路利用者の利便性向上</li> </ul> <p>■事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画期間 19年間(平成23年度～令和11年度)</li> <li>・全体事業費 967百万円(工事費: 907百万円, 用地費: 60百万円)</li> <li>・計画延長 L=1.44km(起点)津市白山町二本木～(終点)津市白山町二本木</li> <li>・幅 員 W=6.00m(9.75)m</li> <li>・主要構造物 橋梁 1橋</li> </ul>						
事業主体の再評価結果						
<p>1 再評価を行った理由</p> <p>平成23年に事業採択後、一定期間(10年)を経過し、継続中の事業であるため、三重県公共事業再評価実施要綱第2条(2)に基づき再評価を行いました。</p>						
<p>2 事業の進捗状況と今後の見込み</p> <p>2-1 事業の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和元年度末の事業進捗率は事業費ベースで19%(工事14%, 用地83%)となっています。</li> <li>② 現時点で開通区間はありません。</li> </ul> <p>2-2 今後の見込み</p> <p>今年度は道路改良工事を推進し、令和12年度の供用を目標としております。</p>						

### 3 事業を巡る社会経済情勢等の変化

平成23年度の事業化以降、事業区間近傍では、大規模住宅団地の「ニュータウン白山台」が分譲され、令和元年5月には、JAの3店舗を統合した「JA白山北支店」が開業するなど、周辺地域の開発が進んでいます。また、平成28年3月には、当該路線に接続する市道大角茅川線の車道幅と歩道整備が行われ、供用が開始されました。

周辺開発の進展により、利用者の増加が見込まれるとともに、周辺道路を含めた安全性向上へのニーズからも、本事業の必要性は層高まっております。

### 4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元意向の変化等

#### 4-1 費用対効果分析

##### ① 前回評価時の費用対効果分析の結果

【前回評価時】(平成23年時)	
総費用 (C)	5.6 億円
総便益 (B)	7.9 億円
費用便益比 (B/C)	1.4

##### ②費用対効果の結果

費用便益比 (B/C)	総費用 (C) (残事業) / (事業全体)	総便益 (B) (残事業) / (事業全体)
【事業全体】 1.4	6.0 億円 / 8.3 億円 事業費 : 5.6 億円 / 7.8 億円	11.5 / 11.5 億円 走行時間短縮便益 : 9.7 / 9.7 億円 走行経費減少便益 : 1.7 / 1.7 億円 交通事故減少便益 : 0.1 / 0.1 億円
【残事業】 1.9	維持管理費 : 0.4 億円 / 0.4 億円	

##### ③感度分析の結果

【事業全体】	【残事業】
交通量 : B/C = 1.3~1.5 (±10%)	交通量 : B/C = 1.8~2.1
事業費 : B/C = 1.3~1.5 (±10%)	事業費 : B/C = 1.8~2.1
事業期間 : B/C = 1.3~1.5 (±20%)	事業期間 : B/C = 1.8~2.1

※出典：費用便益分析マニュアル（平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局）

#### 4-2 その他の効果

##### ① 救急搬送の支援

- ・ 2車線分の幅員を確保することで、現道の対向車とのすれ違いによる課題が解消しスムーズで安全な搬送が期待。

##### ② 歩行者の安全性向上

- ・ 歩道を整備することで登下校中の生徒が安全に通行できるようになる。

##### ③ 商業施設へのアクセス向上

- ・ 新設区間を整備することで、川口地区から商業施設へのアクセスが向上する。

#### 4-3 地元の意向

令和元年の8月に「津市」から提出された「令和2年度県政に対する要望」では、当該路線について早期の事業完了が要望されております。

5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

5-1 コスト縮減

① 耐候性鋼材

鋼製橋梁本体に耐候性鋼材を使用しており、塗装メンテナンスにおける塗り替え費用を縮減します。

② 張コンクリートの施工

道路法面の一部を張コンクリートで覆い、草刈に要する維持管理費を縮減します。

5-2 代替案

比較案としては、バイパス案が考えられますが、バイパス案はトンネル構造で、住宅の地下を通すことになり、経済性、施工性からも現計画が最適と考えられます。よって、代替案はありません。

再 評 価 の 経 緯

再評価の経緯はありません。

事 業 主 体 の 対 応 方 針

三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点により再評価を行った結果、同要綱第5条第1項に該当すると判断されるため当事業を継続したいと考えています。